

エアバス A320neo の追加導入を決定

- ・ 18機を追加導入
- ・ 2021年度から順次納入
- ・ 既存機材の更新用機材として使用

Peach Aviation 株式会社（以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一）は、本日、エアバス社（民間航空機部門社長:ギヨム・フォーリ）の A320neo18機を追加導入することを発表しました。

Peachでは、すでにA320neoを8機発注しており、初号機は2020年度中に受領する予定です。今回導入を決定したA320neoは、既存機材の更新用機材として2021年度以降に受領する計画です。

A320neoは、新型エンジンと大型のウイングチップであるシャークレットといった翼端デバイスなどの最先端技術を採用しています。これにより、従来型機と比較し、大幅に燃費が向上し、CO₂の排出量も削減されるなど優れた環境性能を有する航空機です。



追加導入予定の Airbus A320neo

【Peach が追加導入する A320neo の概要】

導入機数： 18 機
納入時期： 2021 年度から受領予定(以降、約 5 年間で計 18 機を受領予定)
エンジン： 未定
装備座席数： 188 席

なお、2020 年度には、中距離用 A321LR を 2 機導入します。A321LR は、単通路型機のベストセラーである A320 ファミリーの最新派生型で、同ファミリーの A321neo をベースに開発されたモデルです。単通路型機としては、世界最長の最大航続距離 7400km を実現するモデルで、日本からアジアの全域をカバーすることが可能になります。

[Peach について\(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在では関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、那覇空港を拠点空港とし、23 機の機材で、国内線 16 路線と国際線 15 路線に就航しています。1 日あたりの運航便数は約 100 便で、毎日 13,000 人以上のお客様にご利用いただいています。